

■東部（弁天町駅周辺）エリアの主な取組みスケジュール

令和 3 年度（2021）		令和 4 年度（2022）		令和 5 年度（2023）		令和 6 年度（2024）		
まちづくりの 基本方針 基本方針① 基本方針② 都市居住のもつ利便性の高さと良好な地域コミュニティをベースとした災害に強い安全・安心が確保されたまちづくりを推進する	【取組みの方向性①】大阪ベイトワーを中心とした弁天町駅周辺エリアのにぎわいの創出							
	①大阪ベイトワーアトリウム等の公共空間を活用した社会実験イベント等の継続的な実施							
	②まちづくりプラットフォームの構築							
	【取組みの方向性②】もと市岡商業高等学校跡地の民間活用（売却）の推進							
	①もと市岡商業高等学校跡地の民間活用（売却）の推進							
				②地域の活性化に貢献する暫定活用の実施				
	【取組みの方向性③】弁天町駅周辺エリアのバリアフリー化の推進							
	①交通バリアフリー弁天町地区連絡調整会議の開催（交通バリアフリー基本構想に基づく継続的な取組み）							
	②国道 43 号地下道のバリアフリー整備に向けた調整							
				③大阪ベイトワーと JR 弁天町駅を結ぶ立体横断施設のバリアフリー整備に向けた調整				
	【取組みの方向性④】水辺空間の利活用の推進							
	①水辺空間の利活用にむけた検討プラットフォームの構築							
	②舟運や既存施設等を活用した社会実験イベント等の実施							
	【取組みの方向性⑤】（仮称）区画整理記念・交流会館を拠点としたまちづくりの推進							
	①「（仮称）区画整理記念・交流会館」の整備							
	②まちづくりプラットフォームの構築（再掲）							
	【取組みの方向性⑥】桜通りの港区コミュニティロードとしての位置づけと取組み							
				①港区コミュニティロードとしての位置づけと取組み				
				②港区コミュニティロードを活用したイベント等の開催				

2025年大阪・関西万博の開催を契機とした持続可能なまちづくりの推進

東部（弁天町駅周辺）エリアの取組みの方向性

